

2016.11.20(日) 「～戦闘甲斐士19」 <～日本S.フェザー級王座決定戦～>

会場:山梨県流通センター 山梨県中央市流通団地2-6-1 問合せ:マイウェイジム 055-228-2325

主催:YKA山梨県キックボクシング協会 認定:Japan Kickboxing INNOVATION

<結果>

■メインイベント(第9試合)<INNOVATION-S.フェザー級・王座決定戦>/58.97kg/3分5回戦(SD1)

○ORYOTA (マイウェイジム・山梨/同級1位/WBC同級3位/UKF東ASIAフェザー級王者) 58.70kg

×浅川大立 (ダイケンスリーツリージム・山梨/同級2位/WBC同級5位) Hirotatsu Asakawa 58.97kg

判定=3-0(50-48 49-48 49-48) ※RYOTAが第3代スーパーフェザー級王者に

まさに仁義なき戦い、雌雄決着同門対決! 地元山梨同士の王座決定戦は序盤から遠慮なく打合い蹴り合いが続き、双方の応援合戦も熱気を帯び、目の離せない実力伯仲の闘いとなった。しかし中盤の3Rに入るとRYOTAのスピードとパンチの精度が浅川の馬力をやや上回り、特に最終ラウンドは肘もパンチもクリーヒットさせ、勝利を決定づけた。

RYOTAは2年前に失ったベルトを1階級上げて取り戻した。

■セミファイナル(第8試合)S.バンタム級・交流戦/55.5kg契約/3分3回戦/肘なし

○若月勇磨 (マイウェイスピリッツジム・山梨/同級4位/WBC同級9位) Yuma Wakatsuki

×戸塚昌司 (C'rush・静岡) Masaji Tozuka

判定=3-0(30-28 30-29 29-28)

■セミファイナル(第7試合)INNOVATION-S.フェザー級・ランキング戦/58.97kg/3分3回戦

○葵拳士郎 (マイウェイジム・山梨/同級5位/WBC同級6位) Kensiro Aoi

×元山祐希 (武勇会・愛媛/同級10位) Yuki Motoyama

1R 2'14"TKO (Dr.ストップ/肘打ちで額のカット)

■第6試合 S.ライト級・交流戦/63.5kg/3分3回戦

×宮下修平 (マイウェイジム・山梨/同級10位) Shuhei Miyashita

○♂刈る。(PHOENIX・東京) Osukaru

判定=0-3(28-30 28-29 28-29) ※宮下は1Rにパンチで1ダウン

■第5試合 INNOVATION-フェザー級・ランキングチャレンジ/57.15kg/3分3回戦

○高石 楽 (マスターズピット・千葉・同級10位) Gaku Takaishi

×塚原 圭 (T-GYM・山梨) Kei Tsukahara

判定=3-0(30-27 29-28 29-28) ※塚原は2Rに1ダウン

■第4試合 INNOVATION-ジム対抗戦/60.0kg契約/3分3回戦

×影山弘樹 (マイウェイスピリッツジム・山梨/ライト級10位) Hiroki Kageyama

○児嶋真人 (DANGER・茨城/フェザー級10位) Masahito Kojima

1R 1'45"TKO (Dr.ストップ/肘打ちで額のカット)

■第3試合 INNOVATION-バンタム級<新人王トーナメント準決勝>/53.52kg/2分3回戦(SD1)/肘なし

×豊島加南洋 (マイウェイジム・山梨) Kanahiro Toyoshima

○稔之晟 (マイウェイスピリッツジム・山梨) Jinnojo

判定=0-3(27-30 28-30 29-30) ※稔之晟は新人王決定戦に進出(1月22日)

■第2試合 INNOVATION-ライト級/61.23kg/2分3回戦/肘なし

×外川夏樹 (マイウェイスピリッツジム・山梨) Natsuki Togawa

○橋本拓海 (橋本道場・東京) Takumi Hashimoto

3R 1'16"TKO (2ダウン)

■第1試合 INNOVATION-バンタム級/54.0kg契約/2分3回戦/肘なし

○中村龍登 (橋本道場・東京) Ryuto Nakamura

×石原 幹 (ダイケンスリーツリージム・山梨) Miki Ishihara

3R 0'26"KO (ハイキック)

■Opening Fight-ライト級・交流戦/61.23kg/2分3回戦/肘なし

○OTAKUYA (K-CRONY・茨城)

×ソムブラユン・ヒロキ・DANGERGYM (DANGERGYM・茨城)

判定=3-0(30-27 30-27 30)